

科目名	仏教経典史					単位	2.0
担当教員	飯田 真宏						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4319

●授業のテーマ

経典を伝えてきた人々の願いにふれる。

●到達目標

経典が今日まで伝えられてきたことの意味を、一人ひとりが考える。

●学習内容(授業概要)

わたしたちが何気なく手に取ることのできる仏教経典。しかし、その経典とは、無数の人間たちがいのちがけで、未来のわたしたちのために伝えてきたものである。

時に怒りや悲しみとともに、時に喜びや願いとともに。経典は国や時代社会の課題に応え、その姿や在り方を変えながら、今に至るのである。

この授業では、仏教経典が伝えられてきた歴史と、その経典の概要。また、経典に関わった人々と、その関わり方などについて。特に中国を中心に学んでいきたい。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 経典とは何か？
2. インドから中国へ
3. 経典の学び方—釈道安—①
4. 経典の学び方—釈道安—②
5. 経典を求める争い—歴史的背景—
6. 経典の翻訳—鳩摩羅什—①
7. 経典の翻訳—鳩摩羅什—②
8. 経典の危機—廃仏—①
9. 経典の危機—廃仏—②
10. 経典を求めて—玄奘—①
11. 経典を求めて—玄奘—②
12. 中国における大乘経典①
13. 中国における大乘経典②
14. 日本に伝わった経典①
15. 日本に伝わった経典②

●準備学習・事後学習の内容

授業中に配布した資料を熟読。

●成績評価方法・基準

平常点（出席日数・授業中の態度）50%、試験（レポート）50%。

●テキスト（必携）

授業中、テキスト（資料）を適宜配布する。

●参考文献／その他

授業中、内容に応じて随時紹介。

●履修上の注意

特になし。